

名前： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

/ 100点 目安： 15分

## 学習のポイント

- 四則混合計算は計算順序（先に乗除、後に加減）を守って正確に実行しよう
- 素因数分解の基本：合成数を素数の積で表現する方法を習得しよう
- 素因数分解から最大公約数と最小公倍数の関係を理解しよう

## 1 四則混合計算の復習

各10点

1  $4 + 3 \times 2 =$  \_\_\_\_\_

10点

2  $20 \div 4 + 2 \times 3 =$  \_\_\_\_\_

10点

3  $(-2) \times (-3) + 4 =$  \_\_\_\_\_

10点

4  $12 \div (-3) - 2 =$  \_\_\_\_\_

10点

## 3 素因数分解と最大公約数・最小公倍数

各10点

5 12と18の最大公約数を求めなさい。

10点

6 20と30の最小公倍数を求めなさい。

10点

7 ある学校の体育祭で、赤色のはちまき48本と青色のはちまき36本を同じ個数ずつ分けて、余りなく配りたい。1グループの人数として考えられる最大の人数は何人が。

10点

## 4 選択問題

各10点

8 24の素因数分解はどれか。

10点

ア.  $2 \times 3 \times 4$ イ.  $2^3 \times 3$ ウ.  $2^2 \times 6$ エ.  $3 \times 8$ 

9 15と25の最大公約数として正しいものはどれか。

10点

ア. 5

イ. 10

ウ. 15

エ. 25

10 計算式  $24 \div (-2) \times 3$  の答えは何か。

10点

ア. -36

イ. -12

ウ. 12

エ. 36